

第1回 日本大学医学部附属板橋病院 医療安全監査委員会要旨

- 1 日時：令和3年9月30日（木）
- 2 場所：新型コロナウイルス感染症拡大の為、書面会議で開催
- 3 委員：上條由美（委員長）、各務武希、柴田誠治、西成田進、庄司義男（いずれも委員）
- 4 病院出席者：高橋 悟（病院長）
鈴木 孝浩（副病院長 医療安全管理責任者）
中山 智祥（感染防止対策委員長）
福島 栄（薬剤部技術長・医薬品安全管理責任者）
岡本 一彦（臨床工学技士室技術長補佐・医療機器安全管理責任者）
安藤 智美（医療安全管理者）
石崎 豊久（庶務課課長補佐）
- 5 委員が確認した内容
 - ① 医療安全管理部門
 - (1) 医療安全管理委員会における構成員出席状況
 - (2) 医療安全講習会受講状況
 - (3) インシデント・アクシデントレポート報告状況
 - (4) 放射線読影レポート及び病理報告書未読対策
 - ② 院内感染対策部門
 - (1) 感染防止対策委員会における構成員出席状況
 - (2) 感染防止対策講習会受講状況
 - (3) 針刺し事例と防止対策について
 - (4) 新型コロナウイルス感染予防と手指衛生について
 - ③ 医薬品安全管理部門
 - (1) 薬剤管理委員会における構成員出席状況
 - (2) 医薬品の安全使用のための講習会受講状況
 - (3) 麻薬管理表による管理方法について
 - ④ 医療機器安全管理部門
 - (1) 医療機器放射線機器管理委員会実施状況と出席状況
 - (2) 医療機器の安全使用のための講習会受講状況
 - (3) 経腸栄養分野のコネクタ導入の進捗状況

6 監査結果・委員からの講評

- ① 医療安全・感染対策講習会ともに受講率が高く、適正に実施されている。
- ② 医療安全管理委員会の初期研修医の出席について、交替でもよいので参加を検討すること。また、初期研修医にはインシデント・アクシデントレポートを記載すべき具体的事例を提示すること。
- ③ 医療安全管理委員会開催後の各部門における伝達状況について、事後確認を行うこと。
- ④ インシデントレポートの提出件数について、各診療科に年間25件の提出を義務付けることは否定しないが、各部門がルールに従い自発的に提出するよう医療安全の認識を高めることに努める必要があること。
- ⑤ 針刺し事例の発生件数が多く、初期研修医の割合が高い印象があるため防止対策を実施すること。また、ルールの不徹底による事例が多いことについて、各部門からルールの伝達状況を報告させる等の工夫をすること。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策について、適正に実施されている。手指衛生等感染対策を引き続き実施願いたい。
- ⑦ ナルサス錠の過量投与事例について、ダブルチェックや6Rの確認等の検証が適正に実施されている。今後ダブルチェックの対象薬剤の絞り込みなども検討課題とすること。
- ⑧ 麻薬管理台帳の記載については鉛筆ではなく、訂正等の経過が明確になるようボールペンを使用し、訂正は二本線で行うように改めること。
- ⑨ 経腸栄養分野のコネクタ導入手順についてははっきり確立されている。

以 上